



軽防協ニュース速報

2025年第4四半期(10月-12月)の伝染病発生状況

2026年1月配信

(International Collating Centreからの情報)

ICCの概要

International Collating Centre (ICC) は、35年以上にわたり、世界の馬の疾病発生データを編集しており、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) によって監督されています。ICC は国際馬術連盟、国際サラブレッド生産者連盟のメンバー、日本中央競馬会、ランウェイズスタッドからの寄付によって、多大な支援を受けています。

ICC は、国内外の馬の疾病発生を毎日電子メールで報告しています。報告を受け取るには equinesurveillance@vet.cam.ac.uk までご連絡ください。ICC ビューアーのウェブサイトでは、詳細なインタラクティブレポートが提供されています。利用者は、国または地域ごとにデータを分析したり、特定の日付範囲や状態を選択したり、報告された発生の概要を表示したりできます。 <https://equinesurveillance.org/iccview/> をご覧ください。

レポートの概要

この文書は、2025年の第4四半期における国際的な疾病発生の概要を示している。リアルタイム ICC レポートで報告されていなかった国の疾病発生に関する追加の概要レポートも提示されている。この追加情報は、本レポート全体を通して、該当する表と本文中に #印を付して示されている。このレポートに示されているデータは、慎重に解釈する必要がある。検査のために提出されるサンプルや、その後に報告に至るまでの方法には多少のバイアスがある可能性がある。したがって、これらのデータは国際的な馬の集団における伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。疾病の発生が報告されていない国は、必ずしもその国に疾病が存在しないことではない。各表は国別に報告された疾病の発生件数をまとめたものであり、複数頭含まれる可能性がある。レポートは、身体の器官別に分類されている。

- ・繁殖器疾患
- ・呼吸器疾患
- ・消化器疾患
- ・神経疾患
- ・その他の疾患

繁殖器疾患

発生国	CEM	EHV-1	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	<i>Strep. zoo</i>
アルゼンチン	-	1#	-	-
ベルギー	-	1	-	1
ドイツ	5	-	-	-
アイルランド	-	2#	4#	-
日本	-	2#	-	-
スウェーデン	-	1	-	-

: 四半期後に報告があった追加情報

馬伝染性子宮炎 (CEM)

ドイツ

ニーダーザクセン州で 5 件の発生が報告された。4 件は単発例であり、1 件は同一施設で 3 例が感染した。陽性診断は生殖器スワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による流産

アルゼンチン

四半期後、コルドバ州とサンルイス州の各施設で 2 件報告された。これら 2 つの施設は同一所有者のものであり、繁殖牝馬はこれら 2 つの拠点間を移動していた。サンルイス州の施設では、妊娠中の牝馬 60 頭のうち 8 例の流産が確認された。一方でコルドバ州の施設では、妊娠中の牝馬 140 頭のうち 4 例の流産が確認された。陽性診断は、従来のマルチプレックス PCR 検査および RT-PCR 検査で行われた。

ベルギー

東フランダース州の施設において、ワクチン接種済みの牝馬で 1 例報告された。陽性診断は肺および肝臓組織の PCR 検査で行われた。

アイルランド

四半期後、レンスター地方とマンスター地方の施設でそれぞれ 1 例ずつ、計 2 例報告された。

日本

四半期後、別々の施設で 2 例報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。1 例はワクチン接種済みであり、もう 1 例はワクチン未接種であった。

スウェーデン

ストックホルム郡の施設で 1 例報告された。

Klebsiella pneumoniae による流産

アイルランド

四半期後、コンノート地方（1 例）、レンスター地方（2 例）、アルスター地方（1 例）の施設で計 4 例報告された。

***Streptococcus zooepidemicus* による流産**

ベルギー

東フランダース州の施設で 1 例報告された。陽性診断は、肝臓および肺組織の PCR 検査で行われた。

呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-4	EHV-5	EI	ロドコッカス	腺疫
ベルギー	-	2	-	-	-	-
カナダ	-	-	-	-	-	13
フランス	2	47	-	20	1	27
ドイツ	15	9	-	2	-	22
アイルランド	-	18#	-	-	1#	5#
イタリア	-	1	1	1	-	-
オランダ	4	26	-	7	3	27
南アフリカ	6#	-	-	-	-	-
スウェーデン	2	-	-	3	-	6
スイス	1	-	-	-	-	1
イギリス	1	4	-	-	-	-
アメリカ	11	2	-	6	-	19

: 四半期後に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス 1型 (EHV-1) による呼吸器感染症

フランス

2 件の発生が報告され、1 件はカルヴァドス県の施設で 8 例、もう 1 件はドルドーニュ県の施設で 1 例確認された。陽性診断は、鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

ドイツ

15 件の発生が報告された。13 件はニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設で 1 例ずつ、1 件はニーダーザクセン州の施設で 3 例、もう 1 件は同じくニーダーザクセン州の施設で 8 例確認された。臨床症状として呼吸器症状を認めた。陽性診断は、主に鼻腔および鼻咽頭スワブ、尿、EDTA 血液を用いた PCR 検査で行われた。

オランダ

4 例報告され、フレヴォラント州、ノールトブラバント州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は、PCR 検査で行われた。

#南アフリカ

四半期後、6 例報告され、ハウテン州（3 例）とクワズール・ナタール州（3 例）の施設で確認された。

スウェーデン

ハッランド県とヴェルムランド県の各施設で 2 例報告された。

スイス

チューリッヒ州の施設で 1 例報告された。臨床症状として発熱と四肢の腫脹を認めた。陽性診断は、鼻腔スワブを用いた PCR 検査で行われた。

イギリス

カンブリア州の施設において、ワクチン未接種の驅馬のサラブレッドで 1 例報告された。臨床症状として食欲不振、倦怠感、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブを用いた LAMP 法で行われた。

アメリカ

11 件報告された。そのうち 8 件はアリゾナ州、コロラド州、オハイオ州、オクラホマ州、テネシー州、テキサス州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ、2 件はアリゾナ州とワシントン州の各施設で 2 例ずつ、1 件はモンタナ州の施設で 5 例確認された。臨床症状として、発咳、意識混濁、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、一部の症例では、気管洗浄液および鼻腔スワブを用いた PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 5 型 (EHV-5) による呼吸器感染

イタリア

ピサ県の施設で 1 例報告された。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染

ベルギー

2 例報告され、東フランダース州の施設で 1 例ずつ確認された。1 例は *Streptococcus equi* との混合感染、もう 1 例は EHV-2 および EHV-5 との混合感染であった。臨床症状として、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、鼻腔および鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

フランス

47 件報告され、38 件はアン県、アリエ県、オーブ県、ブーシュ・デュ・ローヌ県、カルヴァドス県、ウール県、オー・ラン県、オート・サヴォワ県、メーヌ・エ・ロワール県、マイエンヌ県、オルヌ県、ピレニー・アトランティック県、ローヌ県、ヴァル・ド・マルヌ県の各施設で 1 例ずつ確認された。6 件はアリエ県、カルヴァドス県、オルヌ県での 2 例ずつ、2 件はカルヴァドス県で 3 例ずつ、1 件はカルヴァドス県で 18 例確認された。

ドイツ

9 件報告され、8 件はニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設で 1 例ずつ、1 件はシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州で 10 例確認された。陽性診断は、主に鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

#アイルランド

四半期後、レンスター地方 (12 例) とマンスター地方 (6 例) の施設で 18 例報告された。

イタリア

1 件報告され、グロッセート県の施設で 2 例確認された。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

オランダ

26 件の発生が報告され、25 件はフレヴォラント州、フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、オーバーアイセル州、ゾイトホラント州、ゼーラント州の各施設でそれぞれ 1 例ずつ、1 件はフリースラント州の施設で 2 例確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

イギリス

4 例報告され、ケンブリッジシャー州、コーンウォール州、ノース・ヨークシャー州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、発咳、倦怠感、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

アメリカ

2 例報告され、ケンタッキー州とペンシルベニア州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として発咳と鼻汁を認めた。

馬インフルエンザ (EI)

フランス

20 件報告された。16 件はアルプ・マリティーム県、カルヴァドス県、シャラント・マリティーム県、エソンヌ県、ウール県、マンシュ県、マイエンヌ県、ノール県、オワーズ県、オルヌ県、サルト県、ヴァル・ド・マルヌ県の各施設でそれぞれ 1 例ずつ、2 件はカルヴァドス県とヴァル・ド・マルヌ県で 2 例ずつ、1 件はメーヌ・エ・ロワール県で 4 例、1 件はアルプ・マリティーム県で 5 例確認された。臨床症状として、発咳、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

ドイツ

2 例報告され、ニーダーザクセン州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

イタリア

トリノ県の施設でワクチン未接種馬 6 例を含む 1 件の発生が報告された。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

オランダ

7 例報告され、フリースラント州、オーバーアイセル州、ゾイトホラント州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

3 例報告され、イエーヴレボリ県、スコーネ県、ストックホルム県の各施設で 1 例ずつ確認された。

アメリカ

6 例報告され、インディアナ州、ネブラスカ州、ノースダコタ州、オハイオ州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、発咳、鼻汁、発熱を認めた。

ロドコッカス・エクイ

フランス

オート・ガロンヌ県の施設で 1 例報告された。陽性診断は、気管洗浄液の PCR 検査で行われた。

#アイルランド

四半期後、レンスター地方の施設で 1 例報告された。

オランダ

3 件の発生が報告され、2 件はオーバーアイセル州で 1 例、1 件はノールトブラバント州で 2 例確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

腺疫

カナダ

13 件の発生が報告された。9 件はアルバータ州、ブリティッシュコロンビア州、オンタリオ州の各施設で 1 例ずつ、2 件はオンタリオ州の各施設で 2 例ずつ、2 件はオンタリオ州の各施設で 3 例ずつ確認された。臨床症状として、膿瘍形成、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。

#アイルランド

四半期後、マンスター地方の施設で 5 例報告された。陽性診断は、PCR 検査および／または培養検査で行われた。

ドイツ

22 件の発生が報告された。21 件はバイエルン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設で 1 例ずつ、1 件はノルトライン・ヴェストファーレン州の施設で 2 例確認された。臨床症状として、鼻汁、発熱、呼吸器症状を認めた。陽性診断は、主に喉嚢洗浄液、鼻腔スワブ、鼻咽頭スワブを用いた PCR 検査と培養検査の併用によって行われた。

フランス

27 件の発生が報告された。26 件はアン県、アルプ・マリティーム県、ブーシュ・デュ・ローヌ県、カルヴァドス県、コート・ダルモール県、ドローム県、オート・ガロンヌ県、オート・サヴオワ県、イル・エ・ヴィレーヌ県、イゼール県、ランド県、ロワール県、メーヌ・エ・ロワール県、マイエンヌ県、ノール県、オルヌ県、ローヌ県、セーヌ・エ・マルヌ県、セーヌ・マリティーム県、ヴァンデ県、ヴィエンヌ県の各施設で 1 例ずつ、1 件はオルヌ県の施設で 6 例確認された。臨床症状として、発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブ、鼻腔スワブ、喉嚢洗浄液を用いた PCR 検査で行われた。

オランダ

27 例確認され、ドレンテ州、フリースラント州、ヘルダーラント州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

6 例報告され、ノールボッテン県、スコーネ県、セーデルマンランド県、ストックホルム県の各施設で 1 例ずつ確認された。

スイス

チューリッヒ州の 1 施設において、数頭の馬が関与する発生が 1 件報告された。陽性診断は、鼻腔スワブを用いた PCR 検査で行われた。臨床症状として、鼻汁と発熱を認めた。

アメリカ

19 例報告され、カリフォルニア州、フロリダ州、イリノイ州、メリーランド州、ミシガン州、ワシントン州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、膿瘍、発咳、鼻汁、発熱を認めた。

消化器疾患

発生国	馬コロナウイルス	ローソニア	ロタウイルス	サルモネラ症
アルゼンチン	-	-	2#	-
アイルランド	-	1#	-	-
オランダ	11	-	-	14

: 四半期後に報告があった追加情報

馬コロナウイルス

オランダ

11 例報告され、フレヴォラント州、フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、オーバー・アイセル州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は、PCR 検査で行われた。

ローソニア

#アイルランド

四半期後、レンスター地方で 1 例報告された。陽性診断は、PCR 検査で行われた。

ロタウイルス

#アルゼンチン

四半期後、2 件報告された。1 件目の施設では、ワクチン接種済みのサラブレッドの子馬と繁殖牝馬が関与しており、臨床症状として下痢を認めた。2 件目の施設では、ワクチン未接種のポロ用の子馬と繁殖牝馬が関与していた。この発生はより広範囲に及び、結果として数頭の子馬が回復のために隔離入院を必要とする事態となった。

サルモネラ症

オランダ

14 例報告され、フリースラント州、ヘルダーラント州、ノールトブラバント州、オーフアーランド州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつ報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

神経疾患

発生国	EEE	EHV-1	EPM	日本脳炎	TBE	WNV
カナダ	1	3	-	-	-	2
フランス	-	-	-	-	-	19
イタリア	-	-	-	-	-	13
日本	-	-	-	1#	-	-
オランダ	-	1	-	-	-	1
スイス	-	-	-	-	1	-
チュニジア	-	-	-	-	-	2
イギリス	-	2	-	-	-	-
アメリカ	4	43	1	-	-	35

: 四半期後に報告があった追加情報

東部馬脳炎 (EEE)

カナダ

オンタリオ州の 1 施設において、1 例報告された。臨床症状として、横臥と痙攣を認めた。

アメリカ

4 例報告され、ミシシッピ州、ニュージャージー州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調、失明、見当識障害、意識混濁、後肢の衰弱を認めた。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患

カナダ

3 例報告され、アルバータ州とオンタリオ州の各施設でそれぞれ 1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調、排尿および排便困難、浮腫を認めた。

オランダ

1 件報告され、フレヴォラント州の 1 施設において 3 例確認された。臨床症状として、運動失調と横臥を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

イギリス

2 例報告され、ケント州とサリー州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調と後肢の腫脹を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブまたは全血を用いた PCR 検査で行われた。

アメリカ

43 件報告された。その大部分は、ロデオ競技世界大会 (Women's Professional Rodeo Association: WPRA World Finals and Elite Barrel Race) に関連したものであった。詳細については、以下の URL をご参照ください。

[www.equinediseasecc.org/news/article/Equine-Herpesvirus-Myeloencephalopathy-\(EHM\)-Outbreak](http://www.equinediseasecc.org/news/article/Equine-Herpesvirus-Myeloencephalopathy-(EHM)-Outbreak)

馬原虫性脊髄脳炎 (EPM)

アメリカ

メリーランド州の 1 施設において、1 例報告された。臨床症状として、運動失調、筋萎縮、横臥を認めた。

日本脳炎

日本

四半期後、ワクチン未接種の 6 ヶ月齢のサラブレッドの子馬において、1 例報告された。臨床症状として、発熱、旋回症状、起立不能、遊泳運動を認めた。陽性診断は、神経細胞の細胞質内における抗日本脳炎抗体を用いた免疫組織化学的検査および PCR 検査で行われた。

ダニ媒介性脳炎 (TEV)

スイス

アールガウ州の 1 施設において、1 例報告された。臨床症状として、特定不能の中枢神経系症状を認めた。

ウエストナイルウイルス (WNV)

カナダ

2 例報告され、オンタリオ州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調を認めた。

フランス

19 例報告され、ブーシュ・デュ・ローヌ県、ガール県、オート・コルス県、エロー県、ヴァール県の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調、極度の疲労、不全麻痺、麻痺、発熱、頻脈、振戦を認めた。1 例のみ、血液を用いた ELISA 法にて陽性診断を実施した。

イタリア

13 件の発生が報告された。そのうち 12 件は、フロジノーネ県、グロッセート県、ラティーナ県、ローマ県の各施設で 1 例ずつ確認された。1 件は、ラティーナ県の 1 施設で 2 例確認された。陽性診断は、血清を用いた ELISA 法で行われた。

オランダ

ゾイトホラント州の 1 施設において、1 例確認された。臨床症状として、意識レベルの低下、筋肉振戦、過敏性を認めた。陽性診断として、血液を用いた IgM ELISA 法で行われた。

チュニジア

2 例報告され、マヌーバ県のジェダイダとナブル県のグロンバリアの各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

アメリカ

35 例報告され、コロラド州、ジョージア州、アイダホ州、イリノイ州、インディアナ州、カンザス州、ケンタッキー州、メリーランド州、ミシガン州、オハイオ州、オクラホマ州、オレゴン州、テネシー州、テキサス州、ユタ州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調、筋痙攣、倦怠感、筋肉振戦を認めた。

その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	非定型ミオパチー	EIA	EGS	馬パルボウイルス
カナダ	-	-	-	4	-	-
チリ	-	-	-	2	-	-
ドイツ	-	1	-	1	-	-
アイルランド	-	-	2#	-	-	-
スイス	-	-	-	-	1	-
南アフリカ	7#	9#	-	-	-	-
イギリス	-	1	-	-	14	-
アメリカ	-	-	-	9	-	1

発生国	EVA	PF	ピロプラズマ症	スーラ病	水疱性口内炎
アルゼンチン	-	-	-	1	-
フランス	2	-	-	-	-
イタリア	-	-	88	-	-
ルクセンブルク	-	-	1	-	-
オランダ	-	-	1	-	-
南アフリカ	-	-	110#	-	-
アメリカ	-	3	-	-	4

: 四半期後に報告があった追加情報

アフリカ馬疫 (AHS)

南アフリカ

西ケープ州の AHS 管理区域を除き、南アフリカ全土で風土病となっている。四半期後、ハウテン州の施設で 7 例報告された。

アナプラズマ症

ドイツ

ノルトライン・ヴェストファーレン州の施設で 1 例報告された。陽性診断は、血液を用いた PCR 検査で行われた。

南アフリカ

四半期後、9 例報告され、フリースティト州（1 例）、クワズール・ナタール州（6 例）、西ケープ州（2 例）の各施設で確認された。

イギリス

デヴォン州の施設で 1 例報告された。臨床症状として、両側性の鼻出血、食欲不振、倦怠感、四肢の浮腫、点状出血と強膜の出血を認めた。陽性診断は、血液塗抹標本の鏡検で行われた。

非定型ミオパシー

アイルランド

四半期後、レンスター地方の施設で 2 例報告された。

馬伝染性貧血 (EIA)

カナダ

4 例報告され、アルバータ州の各施設で 1 例ずつ確認された。

チリ

2 件報告された。1 件はコキンボ州の施設で 1 例、もう 1 件はバルパライソ州の施設で 3 例確認された。陽性診断はゲル内沈降反応で行われた。

ドイツ

メクレンブルク・フォアポンメルン州の施設 1 例報告された。陽性診断はゲル内沈降反応で行われた。

アメリカ

9 件の発生が報告された。そのうち 8 件は、ノースダコタ州、オクラホマ州、テキサス州の各施設で 1 例ずつ確認された。1 件はコロラド州の施設で 4 例確認された。

馬のグラスシックネス (EGS)

スイス

ベルン州の施設で 1 例報告された。

イギリス

14 例報告され、アバディーンシャー行政区域、クラックマナンシャー州、カンブリア州、ファイフ州、グロスタシャー州、ハートフォードシャー州、マージーサイド州、スタッフォードシャー州、サウス・ヨークシャー州、タイン・アンド・ウィア州の各施設で 1 例ずつ確認された。

馬パルボウイルス

アメリカ

バージニア州の施設で 1 例報告された。陽性診断は、PCR 検査で行われた。

馬ウイルス性動脈炎 (EVA)

フランス

疫学的に関連のある 2 件の発生が報告された。そのうち 1 件はピレネー・アトランティック県の施設で 1 例、もう 1 件はカルヴァドス県の施設で 22 例確認された。陽性診断は PCR 検査と血清学的検査で行われた。

ハト熱 (PF)

アメリカ

3 例報告され、アイダホ州とケンタッキー州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、膿瘍形成、リンパ節腫脹、浮腫を認めた。

ピロプラズマ症

イタリア

Babesia caballi の発生は 10 件報告され、バジリカータ州、フロジノーネ県、ラツィオ州、リエーティ県、トスカーナ州の各施設で確認された。陽性診断は EDTA 血液を用いた PCR 検査で行われた。

Theileria equi の発生は 78 件報告され、バジリカータ州、カラブリア州、ラツィオ州、トスカーナ州の各施設で確認された。陽性診断は EDTA 血液を用いた PCR 検査で行われた。

ルクセンブルク

ベルトランジュの施設で 1 件報告された。陽性診断は、PCR 検査で行われた。

オランダ

ノールトホラント州の施設で 1 例報告された。陽性診断は、PCR 検査で行われた。

南アフリカ

ピロプラズマ症が風土病と見なされており、四半期後に北西州を除く全 9 州から合計 110 例報告された。その内訳は、*B. caballi* と *T. equi* で個別に報告されており、以下の通りである。

B. caballi : ハウテン州 (3 例) 、北ケープ州 (4 例) 、西ケープ州 (2 例) 。

T. equi : 東ケープ州 (2 例) 、フリーステート州 (10 例) 、ハウテン州 (43 例) 、クワズール・ナタール州 (9 例) 、リンポポ州 (6 例) 、ムプマランガ州 (6 例) 、西ケープ州 (23 例) 。

T. hanyi : ハウテン州 (1 例) 、西ケープ州 (1 例) 。

スーラ病

アルゼンチン

1 件報告され、サンタフェ州のアロヨ・アギアルの施設で 2 例確認された。陽性診断は CATT (トリパノソーマ凝集試験) で行われた。

水疱性口内炎 (VS)

アメリカ

2025 年 10 月 31 日にアイオワ州エームズの国立獣医サービス研究所 (NVSL) が、アリゾナ州コチセ郡での最初の VSV 陽性施設を確認して以来始まった、VS 発生の概要です。

発生開始から 2025 年 12 月 30 日までに、アリゾナ州の 1 州において計 6 か所の VSV 罹患施設 (確定陽性 6、疑似陽性 0) が特定された。これら 6 施設すべてにおいて、臨床症状を示したのは馬のみであり、4 つの郡 (コチセ、ヒラ、マリコパ、サンタクルス) に

分布している。コチセ郡、ヒラ郡、サンタクルス郡の4施設には、他の感受性種（牛）も飼育されていたが、それらに臨床症状は認めなかった。

日本の競走馬における馬伝染性貧血のサーベイランス検査結果

2026年1月16日
軽種馬防疫協議会

2017年に農林水産省により、日本において馬伝染性貧血(EIA)は清浄化されたと結論づけられ、その後もEIAの清浄性の維持を確認するため、日本中央競馬会(JRA)と地方自治体が管轄する各トレーニング・センターまたは競馬場において、2020年からEIAの自衛的なサーベイランス検査を行っている。2025年においても、各施設約300～2,000頭程度の競走馬の中から、それぞれ無作為に58頭以上を抽出し、2025年秋に採取した血清サンプルを用いて寒天ゲル内沈降反応による検査を実施した。

サーベイランス検査の結果を下表に示す。EIA陽性馬は検出されず、日本の競走馬集団におけるEIAの有病率は95%信頼区間で5%未満であることが示唆された。

表 2025年EIAサーベイランス検査結果

トレーニング・センター 競馬場	団体名 (JRA、地方自治体)	検体数	陽性頭数
美浦トレーニング・センター	JRA	60	0
栗東トレーニング・センター	JRA	60	0
帯広競馬場	帯広市(北海道)	60	0
門別競馬場	北海道	60	0
盛岡競馬場	岩手県	58	0
水沢競馬場	岩手県	60	0
大井競馬場	東京都	60	0
浦和競馬場	埼玉県	60	0
船橋競馬場	千葉県	60	0
川崎競馬場	神奈川県	60	0
金沢競馬場	石川県	60	0
笠松競馬場	岐阜県	60	0
名古屋競馬場	愛知県	60	0
園田競馬場	兵庫県	60	0
高知競馬場	高知県	60	0

日本における馬伝染性子宮炎のサーベイランス検査結果

2026年1月8日
軽種馬防疫協議会

馬伝染性子宮炎(CEM)は、1980年に北海道の日高・胆振地方において国内で初めての流行を見せ、同年中に321頭の馬から *Taylorella equigenitalis* が分離された。2001年からはPCR検査を用いたCEMの清浄化への取り組みが始まり、繁殖登録されているサラブレッド全頭を対象に、毎年繁殖シーズン前にPCR検査による調査を行った。調査結果を表1に示す。陽性馬に対しては治療を行い、3回連続で陰性判定が得られるまでPCR検査を実施した。また、治療にもかかわらずPCR陽性が続いた場合には、安楽死処置を行った。2011年に「馬防疫検討会」において、2010年以降、国内のサラブレッドはCEMから清浄化されていると結論づけられた。

表 1. CEM清浄化プログラムにおける検査頭数およびPCR陽性摘発頭数

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
登録種牡馬	411	412	389	351	331	305	281	282	311	269
登録繁殖牡馬	12,411	12,276	11,499	11,130	10,670	10,297	10,253	10,263	9,872	10,765
PCR陽性牡馬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PCR陽性牝馬	10	4	2	1	1	0	0	0	0	0

同年に複数回PCR検査を実施した馬を含む。PCR陽性馬のうち、2001年に2頭、2002年、2004年、2005年に各1頭の牝馬が安楽死となった。

2011年からは抽出サーベイランスを行っている。牡馬については、繁殖シーズン前に全頭に対してPCR検査を行い、陰性を確認した後、繁殖シーズン後にもほとんどの馬に再検査を実施している。牝馬については、初交配前および子宮内膜炎症状がみられた際にPCR検査を行っている。調査の結果、2025年現在まで陽性例は認められていない(表2)。今後も国内における繁殖用馬に対するサーベイランスおよびICCへの報告を継続していく。

表2. PCR検査による抽出サーベイランスの結果

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
繁殖用牡馬	253	240	263	230	223	232	248	236	
PCR検査牡馬	425	479	459	465	509	467	475	465	
PCR検査牝馬	初交配前	906	1,024	1,170	1,067	1,072	1,133	1,204	1,196
	子宮内膜炎発症時	23	1	277	328	287	303	285	267
PCR陽性 牡馬		0	0	0	0	0	0	0	
PCR陽性 牝馬		0	0	0	0	0	0	0	
	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		
繁殖用牡馬	241	267	280	286	286	298	299		
PCR検査牡馬	449	480	484	497	496	499	505		
PCR検査牝馬	初交配前	1,292	1,258	1,183	1,195	1,396	1,397	1,399	
	子宮内膜炎発症時	256	318	309	317	321	326	287	
PCR陽性 牡馬		0	0	0	0	0	0		
PCR陽性 牝馬		0	0	0	0	0	0		

※2025繁殖用牡馬の頭数根拠:JAIRSホームページ/統計データベース/サラブレッドの生産頭数等各種統計/2025年/種雄馬/共用予定種雄馬地区別・品種別頭数より引用